

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	事業名「ひるがみにんにく」ブランド増進化事業
事業主体(連絡先)	ひるがみにんにく生産組合 (阿智村役場 地域経営課 佐々木幸仁)
事業区分	(6)産業振興・雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	701,347円 (うち支援金 406,000円)

事業内容

全国的に人気が高いにんにくを、伝説にちなんで、『ひるがみにんにく』と命名し、全国に発信できる産地形成をはかる。

3年間で組合員が栽培技術を習得し、村内に技術指導を施し、栽培面積の拡大を行う。

これらの目的を達成するため、『ひるがみにんにく』の登録商標取得を行った。今後は、ロゴマークを作成し、加工商品を開発して高付加価値をつけると共にブランド化をはかる。



【商品化した「にんにくせんべい」とラベル】

事業効果

この事業の実施により、遊休荒廃地の解消。農家所得の向上。老人のいきがい確保をねらい、元気で輝く地域づくりに寄与する効果をねらう。

組合員が5名増え、総勢25名になった。栽培面積も当初計画の1割近くになり、順調に荒廃農地の解消に役立っている。

また収穫量も8tに迫り、販売面では品薄状態が続くなど特産品の開発と付加価値を高めることに寄与できている。

自己評価(事業実施率)【A】

【目標・ねらい】

- 栽培農家の拡大
- 栽培技術の習得
- 生食での直売
- 加工商品の開発
- ロゴマークの作成
- 契約栽培の確立

今後の取り組み

栽培農家を増加させながら商品開発を行い、生食の直販に加えて、加工販売できる商品を開発する。

昼神温泉のホテルの料理に使用してもらえるよう様契約栽培の方向をめざす。

また、組合員による加工商品の販売ができる仕組みを確立する。

「たのしい」を目標に定め、団塊世代の就農誘導をはかり遊休荒廃農地の復活利用をはかる。

自己評価(目標達成率)【A】



【種こぼし実演会】